

令和 2 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	子ども・子育て支援事業	会計名称	一般会計		担当課	子育て支援課	
		予算科目	3 款 2 項 1 目	事業番号	1561	所属長名	太森真喜恵
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	大野舞	
法令根拠等	子ども・子育て支援法 伊予市子ども・子育て会議条例				実施期間	【開始】	令和/平成 25 年度
総合計画での位置付け	健康福祉都市の創造 次代を担う子供たちの育成支援					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	総合計画の政策を達成するために、次代を担う子供たちの育成支援を推進した。						
事業の対象	子ども及び子どもの保護者			事業の目的	国の基本方針に即して、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保等の円滑な実施に関する計画を策定するとともに、事業の推進に努めていく。		
事業の内容 (整備内容)	国の基本方針に即して、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保や円滑な実施に関する計画の策定とシステムの構築を行う。			昨年度の課題に対する具体的な改善策			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	2年度予定	9月末の実績	2年度実績
直接事業費	12,505	9,180	0	0	0	7,200	子ども・子育て会議開催	回	2	1	0	1
財源内訳												
国庫支出金	129	0	0	0	0	0						
県支出金	3,739	4,473	0	0	0	3,588						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	0	0	0	0	0	0			0			
一般財源	8,637	4,707	0	0	0	3,612						
職員の人工(にんく)数	0.55	0.40				0.40						
1人工当たりの人件費単価	7,992	7,812				7,812			0			
※ 直接事業費+人件費	16,901	12,305				10,325						
主な実施主体	直接実施		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)						0			
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計		
					8,292	8,292	8,292	8,292	8,292	41,460		
成果指標	指標	子ども・子育て会議の開催状況			単位	区分年度	前年度	2年度	3年度	目標	毎年度	
	指標設定の考え方	計画の策定に辺り、幼稚園、保育所、小規模保育所や地域子ども・子育て支援事業の量の見込み、提供体制の確保の内容、実施時期についての意見を聞くこと及び子育て支援施策の調査審議をする必要があるため、会議開催の回数を指標とする。			回	目標	4	1	1	1		
					⇒	実績	2	1				
指標で表せない効果												

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)											
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	S	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	第2期伊予市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況を確認することができた。	市からの一方的な報告にならないよう、委員の意見を積極的に求める。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に適切に対応しておらず、見直しが必要である。	5						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市の関与しない、民間や市民団体に委ねるべきである。	5						
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	S				
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4						
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	5						
		効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A				
			コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	4						
			市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	3						
		一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D		S		事業の方向性 所長 の課題認識
社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に適切に対応しておらず、見直しが必要である。			5							
市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市の関与しない、民間や市民団体に委ねるべきである。			5							
有効性	事業の効果		5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	S					
	成果向上の可能性		5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4							
	施策への貢献度		5 4 3 2 1 施策推進に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	5							
効率性	手段の最適性		5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A					
	コスト効率		5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3							
	市民(受益者)負担の適正		5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	4							

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 「子ども・子育て支援法」に基づく「第2期伊予市子ども・子育て支援事業計画」に基づき推進する本市の各施策に関し、適時子ども・子育て会議へ回る等適切な進捗管理に努める必要がある。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>		

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	